

議会バスのあり方の検討

1 経緯

これまで使用していた議会バスは、平成 15 年から 16 年間に渡ってリースしてきたが、平成 30 年 12 月末に判明したエンジンの故障により、リースの継続が困難となったため、令和元年 6 月 12 日のリース期間満了をもってリースを終了した。

今後、新たに議会バスを保有するか否かを検討する必要がある。

2 利用実績

過去 5 年の利用実績は、次のとおりである。

	利用回数
平成 26 年度	18
平成 27 年度	22
平成 28 年度	20
平成 29 年度	23
平成 30 年度	16

※過去 5 年の年間平均 19.8 回

※事務局用務等も含む。

3 保有(購入又はリース)か借上げの検討

議会バスのあり方として、大きく分けて「保有(購入又はリース)」と「借上げ」の 2 つの方法があるため、以下検討する。

(1) 検討にあたって考慮すべき事項

- ア 運用コスト (今後 15 年間で比較)
- イ 運転員の確保 (継続した雇用の必要性)
- ウ 駐車場の確保 (現行場所での駐車不可)
- エ 運用の柔軟性 (緊急時の対応等)
- オ 一都三県との比較 (本県を除く 3 都県との比較)
- カ リスク管理 (事故時のリスク)

(2) 比較検討

	ア 運用コスト	イ 運転員の確保	ウ 駐車場の確保	エ 運用の柔軟性	オ 一都三県との比較	カ リスク管理
保 有	×	△	△	○	×	×
借上げ	○	○	○	△	○	○